

平成 27 年度抛出委託単価について

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会
評議員会 資料
平成 27 年 12 月 11 日

平成 27 年 12 月 11 日現在、産業構造審議会及び中央環境審議会合同会合において容器包装リサイクル制度に関する審議が行われており、合理化抛出金制度について議論されると思われませんが、再商品化事業を円滑に進めるために、現行の運用方式（直近 3 ヶ年ごとに想定単価を見直す）が継続されることを前提に算出しております。

● 「抛出委託単価」算出の計算式

$$\text{抛出委託単価} = \frac{(\text{①想定額} - \text{②「現に要した費用」の見込金額}) \times 1/2}{\text{④特定事業者からの再商品化委託申込量の総量}}$$

<平成 27 年度抛出委託単価の算出根拠> (単価・金額共 すべて税抜き)

		①想定額※ (円)	②「現に要した 費用」の見込額 (円)	③ = (① - ②) × 1/2 合理化抛出金 の見込額 (円)	④再商品化 委託申込 見込量 (トン)	平成 27 年度 抛出委託 単価 (円/トン)
ガラスびん	無色	464,476,465	494,916,100	-30,439,635	151,800	0
	茶色	491,973,497	527,942,000	-35,968,503	124,300	0
	その他	698,980,002	834,432,200	-135,452,198	100,100	0
PET ボトル		310,069,185	272,891,201	18,588,992	306,734	100
紙製容器包装		25,865,695	17,736,000	4,064,847	37,700	200
プラスチック製容器包装		34,616,144,858	31,553,470,000	1,531,337,429	838,000	1,900

注 1) 市町村への合理化抛出金は、想定額よりも「現に要した費用」が下回ってはじめて抛出されます。

注 2) 計算の結果、③ = (① - ②) × 1/2 がマイナスあるいは 0 (ゼロ) となる場合、抛出委託単価は 0 (ゼロ) となり、合理化抛出金は生じません。

注 3) 合理化抛出金の見込額、再商品化委託申込見込量、抛出委託単価は端数調整しています。

※平成 27 年度想定額の求め方 (「想定単価」 × 「想定量」)

素材別/再商品化手法別		想定単価 (円/トン)	想定量 ^{注1} (トン)	想定額 (円)
ガラス びん	無色	4,142	112,138.210	464,476,465
	茶色	4,492	109,522.150	491,973,497
	その他	5,943	117,614.000	698,980,002
PET ボトル		1,551	199,915.658	310,069,185
紙製容器包装		1,107	23,365.579	25,865,695
プラスチック製 容器包装	材料リサイクル(トレイ)	109,875	559.595	34,616,144,858
	材料リサイクル(トレイ以外)	65,313	337,063.670	
	油化			
	高炉還元剤化	31,679	38,853.330	
	コークス炉原料化	41,873	210,411.350	
	合成ガス化	31,299	79,831.010	

注 1) 想定量は特定事業者負担分のみ。

(参考) 平成 26 年度 抛出委託単価について

<平成 26 年度 抛出委託単価の算出根拠>

* 税抜単価

平成24年度分		①	②	③ (①-②) × 1/2	④	③ ÷ ④
		想定額※ (円)	「現に要した費用」 の見込金額 (円)	合理化抛出金 の見込金額 注1) (円)	再商品化 委託申込 量の総量 (トン)	平成 26 年度 抛出委託単価 (円/トン)
ガラスびん	無色	456,088,957	489,821,759	-16,866,401	146,095	0
	茶色	491,371,345	534,808,889	-21,718,772	118,541	0
	その他色	683,331,904	735,224,444	-52,946,270	90,566	0
PETボトル		312,561,512	102,683,708	104,938,899	294,048	400
紙製容器包装		26,566,755	22,070,000	2,248,378	32,800	100
プラスチック製 容器包装		34,620,853,752	31,884,144,969	1,368,354,392	729,000	1,900

注1) 計算の結果、(①-②) × 1/2がマイナスあるいは0 (ゼロ) となる場合は、合理化抛出金は0 (ゼロ) となります。

注2) 合理化抛出金の見込金額、再商品化委託申込量の総量、抛出委託単価は端数調整しています。